

株式のご案内

事業年度 1月1日～12月31日
定時株主総会 3月開催
剰余金の配当基準日 12月31日(中間配当を行う場合は6月30日)
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社本店証券代行部

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合(特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更およびマイナンバーのお届出などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	当社の特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行へお問い合わせ願います。 みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
未払配当金、その他当社株式関係書類についてのお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。
株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い	・株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・お届出が済んでいない株主様は、上記お問い合わせ先へマイナンバーのお届出をお願いします。	

公告方法 電子公告(<https://www.soir.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

証券コード 8040(東証スタンダード市場)

【単元未満株式(1～99株)の買取制度のご案内】

○お手続き方法
単元未満株式が記録されている口座によってお手続きの窓口が異なりますので、ご注意ください。

- ①証券会社の口座に記録されている単元未満株式
お取引口座のある証券会社(口座管理機関)にお問い合わせください。
- ②特別口座に記録されている単元未満株式
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部(特別口座の口座管理機関 兼 株主名簿管理人)にお問い合わせください。

お客様相談室 *Customer Service*

お客様からいただいたお一人おひとりの声を大切に、迅速な対応を心掛けております。いただいたご意見は、さらにお客様に愛されるフォーマルウェアをお届けするために商品やサービスへと反映しております。

03-4531-9880

(土・日・祝日を除く 10時～17時)

ホームページのご案内 *Corporate Site*

当社の最新情報、IR情報など、情報満載のウェブサイトです。



<https://www.soir.co.jp/>

公式SNS *Social Media*

フォーマルシーンに関する情報や新作のお知らせなどを、いち早く紹介しています。

● Instagram

@tokyosoir_official



● Facebook

@tokyosoir



株式会社 東京ソワール

本社 〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-12
TEL.03-4531-9881(代)



Business Report 2023

Formal Beauty

礼儀正しく、私らしく。

株式会社 東京ソワール

第55期中間 ビジネスレポート

2023年1月1日～2023年6月30日

証券コード:8040

■第55期 当第2四半期累計期間の概況

当第2四半期累計期間(2023年1月1日～2023年6月30日)における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行による行動制限や海外からの入国制限の緩和を受けてインバウンドを含む消費需要が回復するなど、経済活動の正常化が更に進みましたが、海外経済の減速への懸念や資源価格の高止まりなどもあり、先行き不透明な状況が続いております。

当アパレル業界におきましては、行動制限の緩和により社会活動の正常化が進み、各種オケージョンの再開による外出需要の高まりから人流増加もあり、個人消費の回復傾向が見られました。一方で、物価上昇による消費マインドの冷え込みや、原材料及びエネルギー価格の上昇など、今後の事業環境への影響が依然として懸念されます。

このような経営環境の中、当社は2022年度を初年

度とする中期経営計画に基づき、事業継続のための「効率的な財務体質の構築」と持続的な成長を実現するための「新たな収益構成の構築」、デジタルシフトや地球環境問題への配慮をはじめとする「社会環境変化への対応」に取り組んでおります。

卸売事業におきましては、継続して取引条件の改善や不採算店舗からの撤退を進めるとともに、「tokyosoir ショップ」では、従来とは異なるカテゴリーの商品展開や、魅力的な売場づくりにより、新たなお客様の開拓に向けて取り組んでおります。

小売事業におきましては、直営店「フォルムフォルマ」は、卒入学式をはじめとする行事や式典の正常化による来店客数の増加に加え、オリジナル商品の提案やデジタル活用によるプロモーションを積極的に行い、唯一無二のショップへの進化に取り組んでおります。Eコマース販売では、自社ECサイトにおけ

るマーケティングツールの活用やポイント制の導入、ECサイト限定商品の提案を強化することで、売上を伸ばしております。

新規事業におきましては、レンタル事業は、リアル店舗と自社ECサイトの連携や多様化するお客様ニーズに対応した商品の拡充により堅調に売上を伸ばしております。ライフスタイルブランド「kuros」は、リアル店舗とECサイトの両軸で、各種プロモーションによる認知度向上を図り、事業拡大に向けて取り組んでおります。

このような結果、商品別の売上高は、ブラックフォーマルが51億67百万円(前年同四半期比8.3%増)、カラーフォーマルが14億51百万円(同3.0%増)、アクセサリー類が12億63百万円(同8.0%増)となり、当第2四半期累計期間の売上高は、前年同四半期比5億34百万円増の78億83百万円(同7.3%増)となりました。

利益面では、原材料価格等の上昇に伴う原価への影響はあるものの、主要アイテムであるブラックフォーマルの売上高が増加したことから、売上総利益率は前年同四半期比1.7ポイント増の52.8%、売上総利益は同4億12百万円増の41億65百万円(同11.0%増)となりました。販売費及び一般管理費は、売上高の増加に伴う販売促進費、荷運賃、店舗賃借料の増加や、成長に向けた投資もあり、全体では前年同四半期比2億13百万円増の35億85百万円(同6.3%増)となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、営業利益5億80百万円(前年同四半期比52.3%増)、経常利益6億33百万円(同41.9%増)、四半期純利益は8億54百万円(同92.3%増)となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

